

令和7年度（2025年度）
一般社団法人 海峡都市関門 DMO
事業計画

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

一般社団法人 海峡都市関門 DMO は、令和 7 年度において、国内外からの観光客誘致とエリア内回遊促進を目的としたエリアマネジメントを重点的に推進してまいります。具体的には、観光 DX を活用したマーケティングの実施、関門海峡エリアの歴史・文化資源を核とする日本遺産の推進、関門海峡の豊かな自然環境を活用した観光商品の開発、近代建築物を用いたインフラツーリズム事業、そして防災を主軸とした環境型教育旅行への取り組みを強化いたします。

1. エリアセールス事業（広報・営業活動）

- ・ 地域観光資源の戦略的な情報配信
- ・ 国内外の旅行会社等に向けた営業活動（地域や行政等の連携により実施）

2. エリアマネジメント事業（持続可能な観光地の実現）

- ・ 地域共通クーポン「かんもん Pay」事業
- ・ 持続可能な観光への取り組み
- ・ 生成 AI を活用した観光受入体制の整備

3. エリアマーケティング事業（地域観光分析）

- ・ 観光ビッグデータを活用した観光客の動態把握・分析
- ・ アンケート等を活用した観光客のセグメント分析
- ・ エリア内観光資源の整備と販路拡大の支援

4. 地域観光商品の開発

- ・ 近代的な建築物を活用したインフラツーリズム
- ・ 関門海峡の自然環境を活用した観光商品開発
- ・ 防災を軸とした環境型教育旅行
- ・ 日本遺産「関門ノスタルジック海峡」の認知拡大と商品開発
- ・ 新たな観光資源・産業の開発

5. その他取り組み

- ・ 持続可能な観光への取り組み
- ・ 地域の教育機関と連携した地域共創事業の実施

I. エリアセールス事業（広報・営業活動）

1. 地域観光資源の戦略的な情報配信

関門海峡地域の魅力を最大限に引き出すため、自治体や観光事業者と一体となり、国内外の旅行会社および海外ランドオペレーターに対する積極的なセールス活動を展開します。国内外で開催される旅行博への積極的な出展や、大都市圏の旅行会社への定期的な訪問を通じて、旅行商品の造成と販売を強力に推進します。

2. 国内外の旅行会社等に向けた営業活動（地域や行政等の連携により実施）

地域協議会および行政と緊密に連携し、地域が保有する観光資源の魅力やストーリーを効果的に伝え、具体的な営業活動へと繋げていきます。これにより、海外からの誘客を促進し、旅行商品の造成と販売を強力に推進します。

II. エリアマネージメント事業

1. 地域共通クーポン「かんもん Pay」事業

関門海峡エリアでの周遊を促進し、地域経済を活性化するため、2023年度より提供を開始した地域共通クーポン「かんもん Pay」の利用促進を強化します。また、昨年度より継続して、個人観光客への提供に加え、旅行会社による団体旅行、修学旅行、さらにはふるさと納税事業との連携など、多岐にわたるチャネルでの利用促進を図り、さらなる消費拡大を支援します。

2. 持続可能な観光への取り組み

国内外で個人手配旅行（FIT）が増え、リピーターを呼び込むことの重要性が高まっています。観光客は、地域に深く根ざした本物の体験を求める傾向にあるからです。私たちはこのニーズに応えるため、多言語に対応できる地元ガイドの育成プログラムを開発し、専門性の高いガイドチームの組織化を進めます。

観光客は地域独自の魅力をより深く理解し、地域との強い繋がりを実感できます。再訪意欲が高まり、FIT化とリピーター化がさらに促進されると期待しています。私たちはこの活動を通し、「ローカル」な体験を求める国内外の観光客の期待に応え、持続可能な観光を実現していきます。

3. 生成 AI を活用した観光受入体制の整備

国内外観光客の利便性向上と円滑な受入体制の構築を目指し、生成 AI を活用した受入体制整備の導入を検討します。本年度は、門司港レトロ地区における旅行会社等の団体バスの増加に対応するため生成 AI 技術などを活用し、観光客からの駐車場予約問い合わせ対応や、オペレーションの効率化を支援することで、地域内の観光客の満足度向上を図ります。

III. エリアマーケティング（地域観光分析）

1. 観光ビッグデータを活用した観光客の動態把握・分析

地域内で分析可能な観光実態調査データの分析システムを構築します。本取り組みは、事業関係者間の理解促進や地域観光に関する課題の共有、そして調整が必要となる事業です。同時に、地域全体の観光 DX に対する理解度向上も目指します。

2. アンケートを活用した観光客のセグメント分析

関門海峡を訪れた観光客を対象に、観光消費額、満足度、再来訪意欲などに関する詳細なアンケート調査を実施します。これまで個別に把握されていた観光圏における実態を統合的に分析することで、観光客の具体的なターゲット設定と KPI（重要業績評価指標）設計に活用し、より効果的な観光戦略を立案します。

3. エリア内観光資源の整備と販路拡大の支援

関門海峡地域に存在する観光資源の整備とコンテンツ流通の整備を推進します。整備を行った体験コンテンツは JTB BOKUN にて在庫管理を行い、海外 OTA（オンライン旅行会社）への市場流通に取り組みます。また、本事業において関門 DMO が運営する地域 OTA を構築し、国内外の観光客のリピーター獲得に向けた効果的な施策を実施します。

これらの活動を通じて得られるデータは、観光資源の利用状況、販路ごとの販売実績、国内外の観光客の動向などを詳細に分析するために活用します。これにより、効果的な観光資源の整備計画や販路拡大戦略の策定、さらにはリピーター獲得に向けた施策の最適化を進めます。

IV. 地域観光商品の開発

1. 近代的な建築物を活用したインフラツーリズム

関門海峡エリアに点在する近代的な建造物を活用したインフラツーリズム商品を開発します。地域の歴史や産業発展を伝える重要な資源として、これらの建築物の魅力を最大限に引き出し、新たな観光コンテンツとして提供します。

2. 関門海峡の自然環境を活用した観光商品開発

瀬戸内海国立公園をはじめとする関門海峡の豊かな自然環境を活用したアドベンチャーツーリズムなどの観光商品を開発します。地域の特性を生かした体験型コンテンツを提供し、観光客に新たな魅力を発信します。

3. 防災を軸とした環境型教育旅行

地域の自然環境や防災施設などを活用し、防災意識の向上と環境学習を組み合わせた教育旅行プログラムを開発・提供します。学校団体などを対象に、実践的な学びの機会を提供し、地域の魅力を多角的に伝えます。

4. 防災を軸とした環境型教育旅行

関門海峡日本遺産協議会と連携し、日本遺産に登録された関門地域に点在する歴史的な建造物や、映像作品の舞台にもなっている街並み、景観などを最大限に活用した地域活性化に取り組みます。日本遺産のストーリーを活かした新たな観光商品を開発し、認知度向上と誘客促進を図ります。

5. 新たな観光資源・産業の開発

着地型ツアーの造成や交通機関との連携による観光客誘致施策を実施し、共同で旅行商品の開発を進めることで地域観光商品の充実を図ります。関門海峡エリアの歴史・文化や産業を中心としたコンテンツ造成に加えて、地域の潜在的な観光資源を発掘し、新たな観光産業の創出を目指します。

V. その他

関門 DMO における組織体制の整備として以下の事業を実施する。

1. 持続可能な観光への取り組み

関門海峡地域にて持続可能な観光を実現するため、国際基準である GSTC（グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会）に準拠した JSTS-D「グリーン・ディステイネーションズ」に関する取り組みを実施します。地域の環境保全、文化継承、地域経済への貢献を意識した観光活動を推進し、地域住民との協働を強化することで、観光客と地域住民双方にとってより良い観光地の形成を目指します。

2. 地域の教育機関と連携した地域共創事業の実施

地域の教育機関と連携し、観光をテーマとした教育プログラムの共同開発や、学生による地域観光に関するプロジェクトへの参加を推進します。これにより、次世代の地域を担う人材育成に貢献し、地域と観光の持続的な発展を目指します。

3. 観光庁支援メニューの活用

観光庁の補助事業について活用を検討する。

採択については、提案内容によって異なるため調査事業等が公示されたタイミングで随時判断を行っていく。